

令和3年度 事業報告

厚生労働省が策定、公表した「患者のための薬局ビジョン」に示される患者本位の医薬分業の実現を目指し、令和元年に改正された薬機法等により、薬局がすべての医薬品の提供拠点となり、かかりつけ薬局・薬剤師としての機能の充実を図り、地域包括ケアシステムにおいて基本的機能を果たすことが強く求められている。

令和4年度診療報酬改定では看護師の処遇改善や不妊治療の保険適用のための特定の対応などを除き、診療報酬本体で0.23%のプラス改定となり、医科、調剤の配分割合も1:0.3が堅持された。これは、薬局・薬剤師に対する評価と期待が示された結果と判断でき、今後も医薬品安定供給への取組、医療DXへの対応、薬局のかかりつけ機能強化推進、安定的な在宅療養提供体制の構築、薬剤師教育の充実と薬剤師の地域偏在解消等、地域包括ケアシステムの実現に向けて、県民や地域の関係機関等からの期待に応えるため確実な取組を進めていく必要がある。

一方、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、会員の業務並びに本会の事業ともに大きな影響が続いている。本会ではプロジェクトチームを設置し、自宅療養患者等への薬剤の配送を行う協力薬局の取りまとめ、ワクチン大規模接種会場への薬剤師リーダーの派遣とワクチンの調整・充填手技研修の実施、成人及び小児の処方(在庫)薬剤リストの作成と周知、経口治療薬対応薬局の取りまとめ、抗原定性検査キットの薬局販売の推進、県が行う無料検査事業の実施事業者募集への協力、「薬局における薬剤交付支援事業」の受託等により医薬品提供体制の確保に努めた。これにより薬局・薬剤師が地域医療に果たす役割の重要性を示し、自治体や関係機関から薬剤師に対する高い評価を得ることができた。

また、コロナ禍においても必要な研修機会を会員へ提供するためWeb環境の整備を進め、積極的にこれらの設備を活用して研修会を実施した。

なお、一部後発医薬品製造販売業者の法令違反に起因する医薬品供給不足により、県民の医薬品供給体制に対する信頼が揺らぎかねない事態が続いている。本会としては、県民の安全安心の確保及び薬局の負担軽減を図るため、関連団体に対して適正な製造販売体制の構築、安定供給を早期に実現するよう働きかけを行った。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない状況下で厳しい事業運営を迫られた1年ではあったが、以下のとおり、令和3年度の事業を実施したので報告する。

1 組織強化対策

(1) 会員増強対策の推進(継続)

組織強化の基盤である会員の増加策として、会員証発行、「B会員(管理薬剤師以外の薬剤師)」及び「賛助会員」の加入促進を図った。

(2) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて地域薬剤師会活動の充実・強化に努めた。

(3) 部会活動への支援と情報交換会の開催(継続)

組織強化策の一環として、各部会の活動を支援するとともに、活動状況等について報告した。

(4) 組織体制の見直し及び再編(新規)

- ① 委員会構成の見直しによりを行い委員会の再編を実施した。
- ② 部会のあり方等について協議し、部会数及び事業計画の策定方法等について整理した。
- ③ 事務局体制の強化に向けて検討した。

(5) オンライン会議等に対応するための環境整備(継続)

会議及び研修会等のオンライン開催のための環境を整備した。

(6) 若手リーダー養成事業の実施(継続)

本会青年部及び新潟県薬剤師連盟の共催により、若手薬剤師の指導者養成を目的とした「令和3年度若手薬剤師フォーラム」を開催した。

テーマ かんがえようみつな未来のやくざいし

基調講演 日本薬剤師連盟副会長 神谷政幸 氏

(7) 青年部の活動の活性化(継続)

- ① 青年部員の交流等を図るため定例集会(ハイブリッド型研修)を開催するとともに、班活動としてオンライン懇親会を開催した。
- ② 「With コロナ時代のコミュニケーション」をテーマとして、今後より一層充実した服薬指導のための知識を深めることを目的に研修会(ハイブリッド型研修)を開催した。
テーマ With コロナ時代のコミュニケーション
講師 臨床心理士 吉野美穂子 氏
- ③ 各地域における薬物乱用防止普及啓発活動等のイベントへの部員の参画を図るため、各地域へ青年部員名簿を送付した。
- ④ 令和3年度若手薬剤師フォーラム及び定例集会の企画・運営を通じて組織強化に努めた。
- ⑤ 活動内容を青年部員に広報するため、青年部メールマガジンを随時配信するとともに、県薬ホームページにメールマガジンを掲載して広報した。また、青年部Facebookに活動内容等を投稿し、青年部の対外的な広報を行った。

2 災害及び感染症対策

(1) 災害対策にかかる整備及び啓発(継続)

- ① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療の制度等について、新潟大学医学部災害医療教育センターの主催により本会と新潟県病院薬剤師会が共催して、新潟県災害薬事研修会(Web研修)を開催した。
講演1 新潟県の災害医療体制—薬事対応を含めて—
講師 新潟県福祉保健部医務薬事課地域医療整備室 伊藤広朗 氏
講演2 新型コロナウイルス感染拡大下における災害薬事対応
講師 新潟大学医学部災害医療教育センター 和泉邦彦 氏
- ② 「新潟県薬剤師会災害対策マニュアル」に則り、災害発生時の初動時の対応として情報伝達のため役員のメーリングリストを更新し、情報伝達訓練を実施した。
- ③ 災害時に必要と思われる備蓄品等を追加購入した。

(2) 行政等との連携協力体制の整備(拡大)

- ① 新潟県三師会連絡協議会、新型コロナウイルス感染症対策協議会、ワクチン接種体制確保に係る情報交換会等に参画して、情報収集に努めた。
- ② 柏崎刈羽原子力発電所のPAZ圏内における柏崎市、刈羽村の住民等を対象とした安定ヨウ素剤の薬局配布方式の開始にあたり協力薬局を募るとともに、新潟県と委託契約を締結して実施事業に協力した。

(3) 災害時の救援活動等への協力・対応(継続)

- ① 災害発生時の新潟県による救援活動等への協力に関して、新潟県予算に対する要望事項として提出した。
- ② 新潟県が実施した安定ヨウ素剤緊急配布要員養成研修会への参加について会員へ情報提供を行い、原子力災害時における安定ヨウ素剤の緊急配布要員の養成に協力した。

(4) 新型コロナウイルス感染症への対応(拡充)

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応するためプロジェクトチームを設置し、対処方針を策定するとともに会員への情報提供等に努めた。
- ② 厚生労働省が行う「薬局における薬剤交付支援事業」を受託して、薬局を支援した。
- ③ 自宅療養者等への対応薬局をとりまとめて医薬品の提供体制を確保するとともに、薬局が迅速に調剤・配送に対応できる体制を整備するため、成人、小児それぞれの処方(在庫)薬剤リストを作成して、県医師会及び郡市医師会を通じて病院・診療所及び薬局等へ周知した。
- ④ ワクチンの調製・充填に関する研修用動画の作成等により地域薬剤師会を支援した。
- ⑤ 県が設置したワクチン大規模接種会場へ薬剤師リーダーを派遣するとともに、出務時の円滑な業務実施のため手技研修を開催した。また、これらの活動の社会貢献を明らかにするために調査を実施した。
- ⑥ 新潟県からの依頼により新型コロナウイルス感染症の経口治療薬の対応薬局をとりまとめた。
- ⑦ 薬局に特例的に認められた抗原定性検査キット販売の推進のため、薬局向けの説明会を開催した。

- ⑧ 県が行う無料検査事業の実施事業者の募集に協力し、事業に関わる検査実施事業者を募集した。

3 未就業薬剤師の就業促進

(1) 薬剤師無料職業紹介所(継続)

- ① 県薬ホームページ等を通じて「薬剤師バンク」の広報を行い、未就業薬剤師の就労促進・斡旋を行った。
- ② 全国民営職業紹介事業協会主催の職業責任者講習会に参加した。

4 試験検査の実施

(1) 委託検査等の実施(継続)

試験検査委託契約を結ぶ施設を対象とした医療用医薬品や一般用医薬品、薬局製剤の計画的試験検査を実施した。

(2) 依頼検査等の実施(継続)

薬局等からの医薬品検査等の依頼に応じて試験検査を実施した。

(3) 研修会等への参加(継続)

- ① 日薬の「試験検査センター技術研修会」に参加した。
- ② 日薬の「医薬品試験検査に係る精度管理試験」及び厚生労働省の「登録試験検査機関間比較による技能試験」に参加した。

(4) 試薬の販売(継続)

学校給食衛生管理定期検査で使用する食器の残留物検査用試薬を調製し、学校及び学校薬剤師等へ販売した。

5 医療・介護保険制度への対応

(1) 保険薬局研修会の開催(継続)

保険薬局の質的向上を目的として、保険薬局を対象に研修会を開催した(Web研修)。

講演 薬局におけるかかりつけ機能の充実について

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 桂重之 氏

講演 個別指導等における指摘事項と適正な保険調剤について

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 小出智子 氏

特別講演 2025年以降を見据えた調剤報酬体系 ―2022年改定を踏まえて―

講師 日本薬剤師会 常務理事 有澤賢二 氏

(2) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

- ① 関東信越厚生局及び新潟県との保険薬局指導に立会い、当該指導の円滑な実施と薬局の適正な保険請求事務の推進に努めた。また、関東信越厚生局新潟事務所と保険薬局指導計画に係る打合せ会を開催し、意見交換等を行った。

- ② 関東信越厚生局新潟事務所と保険指定申請書の受付締切日変更及び集団指導のeラーニング試行運用等に係る打ち合わせ会を開催し、意見交換等を行った。
 - ③ 関東信越厚生局による監査に立会い、当該指導の円滑な実施と適正な保険請求事務の推進に努めた。
- (3) 「保険薬局だより」の作成(継続)
保険調剤に関する通知等の情報について、会誌「ジャニファ」等に掲載して会員へ周知した。
- (4) 10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会への参加(継続)
関東信越厚生局管内の各都県における調剤報酬請求に関する審査の状況等について意見交換を行った。
- (5) 調剤報酬改定等説明会への参加(隔年)
日薬から配信された説明動画を関係役員が視聴した。
- (6) 調剤報酬改定説明会の開催(隔年)
調剤報酬改定に関する説明動画を作成し、Web配信(YouTube)した。
- (7) 社保・国保・新潟県薬剤師会による調剤報酬審査に係る連絡協議会(仮名)の開催(新規)
適正な保険請求を推進するため、社保・国保のレセプト審査委員及び本会担当役員で情報交換を行って両審査会間の整合を図り、審査情報等を会員へ「保険薬局だより」等にて周知した。

6 薬局のかかりつけ機能の強化推進

- (1) 「かかりつけ薬局としての基本的機能」啓発等(継続)
- ① 「薬と健康の週間」に係る啓発資材を薬局へ送付し、県民への医薬品についての正しい知識や薬剤師等の役割の理解等の普及を呼び掛けるとともに、「薬と健康の週間」に合わせ、服薬フォローアップ強化月間」として薬局に取り組み強化を呼び掛けた。
 - ② 緊急避妊薬の院外処方に対応できる薬局を確保するため、「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」を開催した(ハイブリッド型研修)。
 - 講演 オンライン診療の適切な実施に関する指針と緊急避妊薬の調剤について
 - 講師 新潟県薬剤師会 副会長 笠原敦子 氏
 - 講演 オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点
 - 講師 魚沼市立小出病院 副院長 鈴木孝明 氏
 - 講演 オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について
 - 講師 新潟県女性薬剤師会 会長 市橋直子 氏
新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏
 - ③ 県内の薬局における「かかりつけ機能」の定着度を把握するため、「薬局におけるかかりつけ機能に関する実態調査」を実施した。
 - ④ 輪番制による休日保険薬局当番をホームページ上で公開し、休日における地域住民に対する医薬品の調剤・供給体制を確保した。

(2) 薬局に関わる制度等の定着促進(継続)

- ① 「地域連携薬局」と「専門医療機関連携薬局」から成る認定薬局制度についての会員の理解を図るため、「改正薬機法に関する研修会」を開催した(ハイブリッド型研修)。

講演 薬機法改正の経緯と趣旨 一薬局薬剤師に求められる役割―

講師 新潟県薬剤師会 副会長 荻野構一 氏

講演 改正薬機法の概要と認定薬局制度について

講師 新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課薬務係 荻野寛子 氏

- ② 会員が勤務する処方箋応需薬局を県薬ホームページに掲載し、「かかりつけ薬局」の推進を図った。

- ③ 「健康サポート薬局」に常駐する薬剤師の資質を担保するため、日薬と日本薬剤師研修センターに協力し、健康サポートのための多職種連携研修会を開催した(ハイブリッド型研修)。

第1部 健康サポート薬局の基本理念

講演 健康サポート薬局の基本理念(DVD講義)

講師 日本薬剤師会 会長 山本信夫 氏

日本薬剤師会 副会長 田尻泰典 氏

講演 健康サポート薬局の理念 ―地域包括ケアシステムに対応した薬局・薬剤師「新潟県における健康サポート薬局の姿」―

講師 新潟県薬剤師会 副会長 笠原敦子 氏

講師 仲町調剤薬局、新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

薬局が地域の資源とどのように繋がるかに関するグループ討議

進行 新潟県薬剤師会 医薬分業・在宅医療委員会本部委員 田中友康 氏

新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

第2部 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と健康サポート薬局の連携

講演 「健康立県」の実現を目指して ―新潟県の健康施策について―

講師 新潟県福祉保健部健康づくり支援課健康立県推進班 小島美世 氏

講演 地域でつながる栄養士活動

講師 新潟県栄養士会 管理栄養士 川村美和子 氏

講演 総合事業と地域包括ケアシステムの構築 ―本市の一般介護予防事業について―

講師 新潟市福祉部地域包括ケア推進課 課長 高橋哲哉 氏

講演 新潟県における医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について

講師 新潟県薬剤師会 副会長 笠原敦子 氏

第3部 地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を發揮するための各職種・機関との連携による対応等に関する演習

進行 新潟県薬剤師会 医薬分業・在宅医療委員会本部委員 田中友康 氏

新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

第4部 健康サポート薬局として今私たちに何ができるかに関するグループ討議

進行 新潟県薬剤師会 医薬分業・在宅医療委員会本部委員 田中友康 氏

新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

(3) 医療安全管理体制の整備、強化の推進(継続)

- ① 安全管理責任者の任務と医療安全をテーマにリスクマネジメント研修会を新潟県病院薬剤師会との共催で開催した(ハイブリッド型研修)。

特別講演 新型コロナウイルス感染症の基本知識アップデート

講師 新潟大学医歯学総合研究科 特任教授 菖蒲川由郷 氏

- ② 会誌「ジヤニファ」にプレアボイド事例を掲載し、会員の取り組みを支援した。

- ③ 日薬が行うDEM事業に協力し、会員の勤務する保険薬局に対し周知して、事業への参加を啓発した。

- ④ 日薬が主催する「高度管理医療機器販売等に係る継続研修会」に共催し、医療機器販売等の営業所管理者を対象とした継続研修会を開催した(ハイブリッド型研修)。

講演 医薬品医療機器等法その他薬事に関する法令

講師 新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課薬務係 荻野寛子 氏

講演 医療機器の品質管理、不具合報告及び回収報告、情報提供

講師 新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

(4) かかりつけ薬剤師・薬局の推進のための会議等への参加(継続)

- ① 厚生労働省が主催する「かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会」等は開催されなかった。

- ② 日薬「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業」として開催された「次世代薬剤師指導者研修会」へ役員を派遣した。

(5) 医療ICT化への対応(継続)

薬が行う薬剤師資格証の発行事業において、地域薬剤師会と連携して申請の受付業務に協力することとしていたが、薬剤師資格証の申請がなかった。

7 在宅医療・介護対策

(1) 訪問業務を行う薬剤師の資質向上(継続)

- ① 訪問業務内容等に関する知識の習得、スキルアップを図るために、地域薬剤師会の協力を得て「フィジカルアセスメント研修会」を開催した。なお、フォローアップ研修会及びフィジカルアセスメントを活用したスキルアップ研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため開催を中止した。

講演・実技 薬剤師に必要なフィジカルアセスメント

講師 新潟県薬剤師会 理事 吉田智彰 氏

地域薬剤師会研修担当講師 村田幸輔 氏

- ② 新潟県と連携して「薬剤師のための認知症対応力向上研修会」を開催した(Web研修及び集合研修を各1回)。

・薬剤師のための認知症対応力向上研修会

第1部 認知症の病態の理解と薬剤師の役割

講演 認知症の病態・治療

講師 総合リハビリテーションセンター・みどり病院 病院長 成瀬聡 氏

講演 認知症の対応と薬剤師の役割

講師 地域薬剤師会研修担当講師 相澤宗一郎 氏
地域薬剤師会研修担当講師 佐藤達夫 氏

第2部 認知症施策と制度と、認知症の人の意思決定支援

講演 認知症施策の現状と制度

講師 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課在宅福祉班 高橋裕子 氏

講演 認知症の人の意思決定支援にむけたプロセスの理解

講師 新潟県薬剤師会 理事 吉田智彰 氏

地域薬剤師会研修担当講師 荏原健志 氏

- ③ 「在宅患者アセスメントと多職種への提案のための研修会」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため開催を中止した。
- ④ 在宅医療に関わる多職種の寄稿を会誌「ジャニファ」に掲載し、薬剤師の資質向上を図った。

(2) 安定的な在宅医療提供のための多職種等との連携促進(継続)

- ① 新潟県と連携し地域医療介護総合確保基金を活用して、介護サービス事業者等を対象とした「おくすり相談会」を開催し、在宅医療に関わる薬剤師の職能及び訪問業務への理解を図った。
- ② 薬剤師の訪問業務の効果を多職種等へ発信するため、訪問業務に関する調査研究を計画した。
- ③ 病院薬剤師と薬局薬剤師との連携強化、薬局・病院双方の薬剤師業務の理解を図るため、「『薬薬連携セミナー』入門編 一連携により働き方が変わる！」を開催した(ハイブリッド型研修)。

特別講演 2025年そして2040年を見据えた地域医療連携を考える

講師 市立敦賀病院 医療支援部長 荒木隆一 氏

講演 新潟県における薬薬連携の現状と課題

講師 新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

講演 患者本位の「連携」とは

講師 新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

- ④ 「在宅ケアを考える集いin越後2021」の大会長、実行委員として役員が大会企画に参画した。

(3) 在宅医療に関わる薬局の体制強化(継続)

- ① 「無菌調剤に係る基礎研修会」を開催した(Web研修)。

講演 薬局における無菌調剤の必要性和無菌調剤に係る手続き

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 五十嵐央 氏

講演 無菌調剤に関わる消毒と調剤手技

講師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会 本部委員 竹野敏彦 氏

講演 在宅医療における栄養・輸液製剤について

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 宮川哲也 氏

- ② 無菌調剤室の共同利用の契約に必要な知識・技術の習得を図り、無菌調剤室の共同利用の推進を目指し、「無菌調剤室における実技研修」を開催した。
- ③ 無菌調剤も含めた薬局の体制に関する周知啓発のため、無菌調剤室共同利用推進のため

の多職種連携会議を開催した。なお、多職種連携研修会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催を中止とした。

- ④ 地域薬剤師会と連携したワークショップ及び在宅医療地域薬剤師会担当者会議は、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止した。

(4) 薬局における介護・介護予防等の地域活動の推進、支援(継続)

- ① 介護予防のための地域ケア個別会議への助言者を派遣し、新任者に対する支援を行った。
- ② 助言者を対象とし、「薬剤師を対象とした助言者スキルアップ研修会」を開催した(Web研修)。
講演・グループ動議 地域ケア個別会議での質問と助言における『思考プロセス例』
講師・進行 新潟県薬剤師会 理事 吉田智彰 氏
ワールドカフェ 助言者間でコミュニケーションを取ろう

(5) 地域薬学ケア専門薬剤師制度への対応(継続)

地域薬学ケア専門薬剤師制度に係る研修の円滑な実施に向け、基幹施設と連携施設との調整を行った。

8 薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(継続)

- ① 認定実務実習指導薬剤師資格更新への対応等も含めた実務実習生受入薬局への支援を強化し、受入体制の整備を図った。
 - ・関東地区調整機構からの依頼により、2022年度薬局実務実習受入の調査を行い、その結果を報告した。
 - ・関東地区調整機構からの調整依頼により、2022年度実務実習受入薬局と薬学生とのマッチングを行った。
 - ・関東地区調整機構からの依頼により、改訂コアカリに基づく2022年度薬局実務実習の受入調査を行った。
- ② 認定実務実習指導薬剤師認定更新講習会を開催した。
- ③ 実務実習指導薬剤師研修会を開催した(Web研修)。
講演 わくわくする実務実習を目指して 一長野県における連携の取り組み—
講師 長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会 委員長 小林潤 氏
講演 実務実習におけるロールプレイ対応症例集の活用について
講師 新潟薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター 准教授 齊藤幹央 氏
事例紹介 令和3年度実務実習受入薬局、病院2施設
- ④ 新潟県において認定実務実習指導薬剤師養成講習会及び認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催を予定したが、関東地区調整機構により養成の緊急性が認められなかったため中止した。

(2) 関東地区調整機構・日薬会議への参加(継続)

薬学生実務実習の環境整備やワークショップの円滑な実施等について協議する病院・薬局実務実習関東地区調整機構指導薬剤師養成小委員会や総会に役員等が出席した。

9 医薬品販売制度への対応

- (1) セルフメディケーション推進のための一般用医薬品等の活用等に関する啓発活動(継続)
健康サポートのための薬剤師の対応研修会(研修会B)を開催した(集合研修)。

講演 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局
講師 新潟県薬剤師会 常務理事 市橋直子 氏
演習 薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応(演習)
進行役 新潟県薬剤師会 副会長 松島邦明 氏

- (2) 医薬品販売制度への対応(継続)

- ① 日薬の「医薬品販売制度に関する自主点検」を実施し、会員薬局の法令遵守を啓発した。
- ② 登録販売者の勤務する薬局の開設者に義務付けられている登録販売者の研修会を新潟県医薬品登録販売者協会と共催して3回開催した(通信講座及びWeb研修)。また、第2回研修会では常務理事の桂重之氏が「濫用のおそれのある医薬品」の講義をした。

10 薬局製剤の推進

- (1) 薬局製剤研修会の開催(新規)

これから薬局製剤に取り組みたい薬剤師を対象に、製剤の選択や事例などを紹介する講演を行った(Web研修)。

講演 薬局製剤入門 一作ってみよう、使ってみよう—
講師 地域保健委員会 本部委員 廣橋義和 氏

11 地域保健対策の推進

- (1) 「県民のための薬のセミナー」の開催(継続)

地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県薬事啓発事業の補助を受け、「県民のための薬のセミナー」を73回開催した。

- (2) 薬物乱用防止事業の推進(継続)

薬物乱用の未然防止を図るため、県民向け啓発資材を作成し、県を通じて県民へ配布した。

- (3) 薬事衛生指導員研修会の開催(継続)

新任等薬事衛生指導員の養成及び薬事衛生指導員のスキルアップを図るための研修会を開催した。

講演 県民のための薬のセミナー事業について
講師 新潟県薬剤師会 常務理事 市橋直子 氏
講演 薬のセミナー等にて薬事衛生指導員から伝えてほしいポイントについて
講師 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏
講演 食中毒・ノロウイルスなどの感染症の基礎知識と対策 ー在宅医療における感染対策ー
講師 日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師 下越病院 三星知 氏

(4) 「薬と健康展」等、薬事啓発事業の実施(継続)

- ① 長岡市薬剤師会主催「働き世代のための健康づくり講座」において、長岡市薬剤師会と連携し、新潟県薬事団体連絡協議会と「薬と健康展」を共催した。
- ② 健康増進関連団体等が主催する「くらしとこころの総合相談会」及び「糖尿病予防講演会」へ県中央薬剤師会の協力を得て参加した。
- ③ ジェネリック医薬品の使用を促進するため、新聞広告を掲載して正しい知識の普及啓発を図った。
- ④ 日薬などが作成した小冊子等薬事啓発資材を購入し、「くらしとこころの総合相談会」及び「糖尿病予防講演会」で県中央薬剤師会の協力を得て配布した。

(5) 自殺予防対策の推進(拡充)

- ① 自殺予防に対する薬剤師の意識向上を図るため計画した自殺予防ゲートキーパー指導員養成ワークショップは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない中止した。
- ② 薬剤師を対象とした集合研修会を開催した。
 - 講演 新潟県薬剤師会における自殺予防の取り組み ―必要性と実践例―
 - 講師 新潟県薬剤師会 副会長 松島邦明 氏
 - 講演 新潟県の自殺の現状と分析
 - 講師 新潟県福祉保健部障害福祉課いのちとこころの支援室 波田野友巳 氏
 - 講演 チームライフの取り組み ―地域の命と健康を守るために―
 - 講師 新潟市薬剤師会薬局業務委員会 自殺予防対策班 齋藤大幸 氏
- ③ 地域における自殺予防対策を推進するために新潟県自殺予防対策推進県民会議に参画して他団体との連携を図った。
- ④ ワークショップの講師を養成するため、関係団体が主催するリーダー養成研修会に参加者を派遣した。
- ⑤ 薬剤師のゲートキーパー養成のための意見交換会を実施し、ワークショップの講師と当会役員とで今後の当会の自殺予防対策事業等について検討した。

(6) 禁煙対策の推進(継続)

県民への理解を深めるために、健康関連イベント等で啓発資材を配布して広報・啓発した。

12 ドーピング防止対策の推進

(1) ドーピング防止に関する啓発・広報活動の推進(継続)

- ① 適正なドーピング防止活動を行うために、ドーピング防止ガイドブック2021を会員薬局及び会員所属の医療機関に配布した。
- ② ドーピング防止に関する情報を会誌「ジャーニファ」等で広報した。

(2) ドーピング防止のための研修会への参加(継続)

会員及びスポーツファーマシストのドーピング防止活動を支援するために、日薬や日本アンチ・ドーピング機構が実施する研修会に参加した。

13 電話相談事業の推進

(1) 電話相談の対応(継続)

新潟県から「薬事啓発事業」の補助を受け、フリーダイヤルを活用した県民からの薬に関する電話相談に応じた。

14 学術研修・生涯教育の充実

(1) 新潟薬学会の開催(継続)

会員の研究発表及び薬剤師としての学術的研鑽を支援するため、新潟県病院薬剤師会及び新潟薬科大学との共催により第163回及び第164回新潟薬学会をWeb配信により開催した。

- ・第163回新潟薬学会

 - 新潟薬科大学発表 1題

 - 一般演題 6題

- ・第164回新潟薬学会

 - 一般演題 6題

 - 特別講演 「小児外科とはどのような医療？小児外科医療における薬物療法の役割は？」

 - 講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科小児外科学分野 教授 木下義晶 氏

(2) 学術研修会の共催(継続)

新潟薬科大学「薬剤師生涯教育講座」等を共催した。また、薬剤師に関連のある各種研修会等を後援して広報することにより、薬剤師の生涯学習の機会を提供した。

(3) 薬剤師生涯学習関連事業の推進(継続)

- ① 日薬の生涯学習支援システムJPALSの広報・啓発に努めた。

- ② 生涯学習地域薬剤師会担当者会議を開催して各地域薬剤師会における状況と課題について情報共有と意見交換を行った。

- ③ 日薬が主催した「薬剤師の資質向上に向けた研修に係る調査・検討事業オンライン研修」に役員等が出席した。

- ④ 日薬が開催した次世代薬剤師指導者研修会等に役員等が出席した。

15 広報・情報活動の推進

(1) 会誌「ジャニファ」の定期刊行(継続)

- ① 会誌「ジャニファ」を年4回発行して、会員の学術的研鑽や会員の交流の場等になるよう寄稿を積極的に働きかけ、掲載内容の充実に努めた。また、県薬事業の広報強化、会員への情報提供を図った。

- ② 日本薬剤師学会大会等の参加報告を会誌「ジャニファ」に掲載して広報に努めた。

- ③ 会員の利便性と刊行の効率性向上を目的に、会誌「ジャニファ」の電子データによる提供について検討した。

(2) 日薬データベースへの参加(継続)

日薬データベース「Bunsaku」共同入力事業に参加した。

(3) 図書及び情報の整備(継続)

薬事情報センター機能の充実を図るため、図書及び情報等の整備に努めた。また、薬物乱用防止教室のための資料等の貸し出しを行った。

(4) 薬事情報に関する研修会への参加(継続)

日薬が主催する薬剤師会薬事情報センター実務担当者等研修会(Web研修)に出席した。

(5) 県薬ホームページの管理(継続)

新潟県薬剤師会のホームページを管理し、内容の充実を図った。

(6) メールニュースの配信(継続)

メールニュースの配信により、会員への即時性のある情報提供に努めた。

16 学術研究倫理審査

(1) 学術研究についての倫理審査(継続)

人を対象とする生命科学・医学系研究を倫理的及び科学的観点から、会員等より申請のあった学術研究について倫理審査を実施した。

(2) 研究倫理に関する研修会の開催(継続)

薬剤師を対象とした研究倫理に関する研修会を開催した。

講演 人を対象とする生命科学・医学系研究倫理指針の変更点と、研究計画書作成にあたってのポイントについて

講師 新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

(3) 研究倫理に関する会議等への参加(継続)

日薬が主催する「研究倫理に関する全国会議」に参加して情報収集を行った。

17 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携(継続)

- ① 新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会連絡協議会に参画して、三師会との連携を強化した。
- ② 三師会社会保険担当理事連絡協議会は中止となった。
- ③ 三師会・国保連合会・支払基金保険事務懇談会は中止となった。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

- ① 新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化した。
- ② 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ参画するとともに、新潟県民医療推進協議会が主催する一般県民・多職種等と対象とした「健康寿命延伸フォーラム」に参加した。

(3) 新潟県薬事団体連絡協議会との連携(継続)

- ① 構成団体相互協力のもとに、業界の発展、公衆衛生の向上及び県民の健康維持増進に寄与することを目的とする新潟県薬事団体連絡協議会に参画して連携を強化した。
- ② 新潟県薬事団体連絡協議会の事務局を担当して総会を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から文書審議により総会を開催した。

(4) その他の関係団体との連携(継続)

- ① 公益財団法人新潟県健康づくり財団に参画した。
- ② 新潟県糖尿病対策推進会議に参画した。
- ③ 新潟県歯科保健協会に参画した。
- ④ 新潟県小児保健研究会に参画した。
- ⑤ 新潟母性衛生学会に参画した。
- ⑥ 新潟栄養・食生活学会に参画した。
- ⑦ NPO法人新潟難病支援ネットワークに参画した。
- ⑧ 公益財団法人新潟県臓器移植推進団体に参画した。
- ⑨ 新潟県交通安全対策連絡協議会に参画した。
- ⑩ 新潟県介護支援専門員協会に参画した。
- ⑪ 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会に参画した。
- ⑫ その他関係団体との連携を強化した。

18 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

(1) 北陸信越ブロック連絡協議会との連携(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努めた。

(2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に出席して、日薬事業の確認とブロック内の情報交換・意見交換を行った。

19 薬剤師学術大会への対応

(1) 日本薬剤師学術大会への参加(継続)

会員の資質向上に寄与するために、Web配信により開催された日本薬剤師学術大会に役員等が参加し、概要を会誌「ジャンプ」等で報告した。

(2) 北陸信越薬剤師大会等への参加支援(継続)

北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会(Web配信)への会員の参加を支援した。